



甲南子育てひろば

ぽけっと

No. 111 2021年11月号

ひろばのTwitterで
最新情報を確認の上、
ご来室ください。

ID: kw_hiroba



木の葉が赤や黄色に色づき始め、秋の深まりを感じる季節になりました。
鈴虫やおそろぎといった秋の虫の音に耳を傾けたり、落ち葉や木の実を集めたり、
戸外遊びが楽しい時期でもありますね。
ぜひ、ご家族で小さな秋を探してみてくださいね。

【リレートーク！】



ご好評いただいている本学の先生方によるリレートーク♪先生方のコラムには子育てのヒントが沢山詰まっています！
今月は人間科学部総合子ども学科 教授 島田博司先生より寄稿いただきました。

人間科学部総合子ども学科 教授 島田 博司 先生 コロナ下の「挨拶の教育」を考えるーピンチはチャンスー

2020年春、新型コロナウイルスの世界的大流行の影響で、私たちの生活は一変しました。3月に入ってすぐに感染症拡大抑制の目的で全国の小中高がほぼ一斉に臨時休校となり、子どもたちが対面でリアルに挨拶をする機会がなくなっていきました。6月に入って各地で学校が再開されると、文部科学省は「学校の新しい生活様式」について公表し、3密の回避やマスク着用、手洗いの励行の徹底を呼びかけました。挨拶するにもソーシャルディスタンスの確保とマスク着用が求められ、これまでのような形で挨拶をすることが難しくなりました。

変化は、文化庁が9月に公表した2020年度の「国語に関する世論調査」の結果からもみとれます。調査時期は3月で、全国の16歳以上6,000人が対象となりました（有効回答は63.2%）。コロナで生じたコミュニケーションの変化を調べたところ、マスク着用で話し方や態度に変化があるとしたのは62.4%でした。この人たちに複数回答で変わる点を尋ねたところ、「声の大きさに気を付ける」が74.1%で最多で、以下「はっきりとした発音で話す」57.5%、「相手との距離に気を付ける」45.1%、「相手の表情や反応に気を付ける」39.8%、「相手に伝わっているか確認する」29.3%、「話す速さに気を付ける」26.6%、「身ぶり手ぶりを多く使う」25.8%などとなっていました。このなかで、10代は他の年代と比べると、「身ぶり手ぶりを多く使う」が高く、「声の大きさ」「相手との距離」「話す速さ」に気を付けるが低くなっていました。

こうした状況のなか、挨拶の教育をどうしたらいいかについて、ある大学で学生対象のワークショップを実施しました。そこでは、上記の調査結果をなぞるように、身ぶり手ぶりなどしっかり体を使って挨拶をすることをめぐって、色々なアイデアがでてきました。そのなかで、検温機能のあるAIロボットや挨拶アプリの開発と利用といった現代テクノロジーを活用した、これまではなかった手法を用いた案もでてきました。学生の発想のしなやかさや多様性に、心打たれた瞬間でした。

今後、人間の仕事の多くをAIが代替することが予想されています。危機こそ好機。折しも「STEAM（スチーム）教育」が注目されるなか、子どもたちが自由な発想で問題を解決する力をいかに養うか、日本でも様々なチャレンジがはじまっています。コロナ禍で挨拶の教育をこれからどうしていったらいいのかわからないなか、AIに使われるだけでなく使いこなす姿勢で解決に挑む学生たちをこれからも応援していきたいと、強く思います。



【ひろばが再開室しました！】

ひろばが再開室し、毎日利用者の皆さまの賑やかな声が聞こえてきて私たちも嬉しく思っています！
10月から看護学科の実習生がひろばにきて、お子様と遊んだりお話を聞いたりすることもあるかと思いますが、ご協力よろしくお願ひいたします。



【キャンディバッグをお配りしました】

ハロウィーンにちなんで10月来室して下さった親子にスタッフ手作りのキャンディバッグをお渡ししました。お顔とバッグの様子は付属のシールを貼って仕上げます。親子でシールを貼って楽しんでいただければと思います。



見本です



仕上げにシールを貼ってあそびます☆

【たくさんのお申込みありがとうございました】

臨時閉室期間中に実施していた「おとどけ・ひろば工作」のキットを使って、親子でおうち時間を楽しむお話を伺いました。
また、申込み時にひろばスタッフにメッセージをつけて送って下さった方も多くいらっしゃいました。利用者の皆さまの温かなメッセージにスタッフ一同とても嬉しい気持ちになりました。

オンラインでのひろば「Zoomでひろば」の利用者さんからは、直接感想を頂戴することができましたので、今後のひろば運営に活かしていきたいと思ひます。

この場をお借りして御礼申し上げます。



再開室後に完成品を持ってきてくれました☆

【おすすめ絵本】

本学、人間科学部 総合子ども学科 高原ゼミの皆さんによるお薦め絵本の紹介です。
今月は、鈴木みづほさん「11匹きのねこ」（馬場のぼる/作 出版社：株式会社 こぐま社）です。



11匹きのねこ

あらすじ

11匹きのねこはいつもおなかぺこぺこ。
「怪物めたいに大きな魚」を目指し、いかだを作り、
帆を張り、たわを積んでいざ出発!!

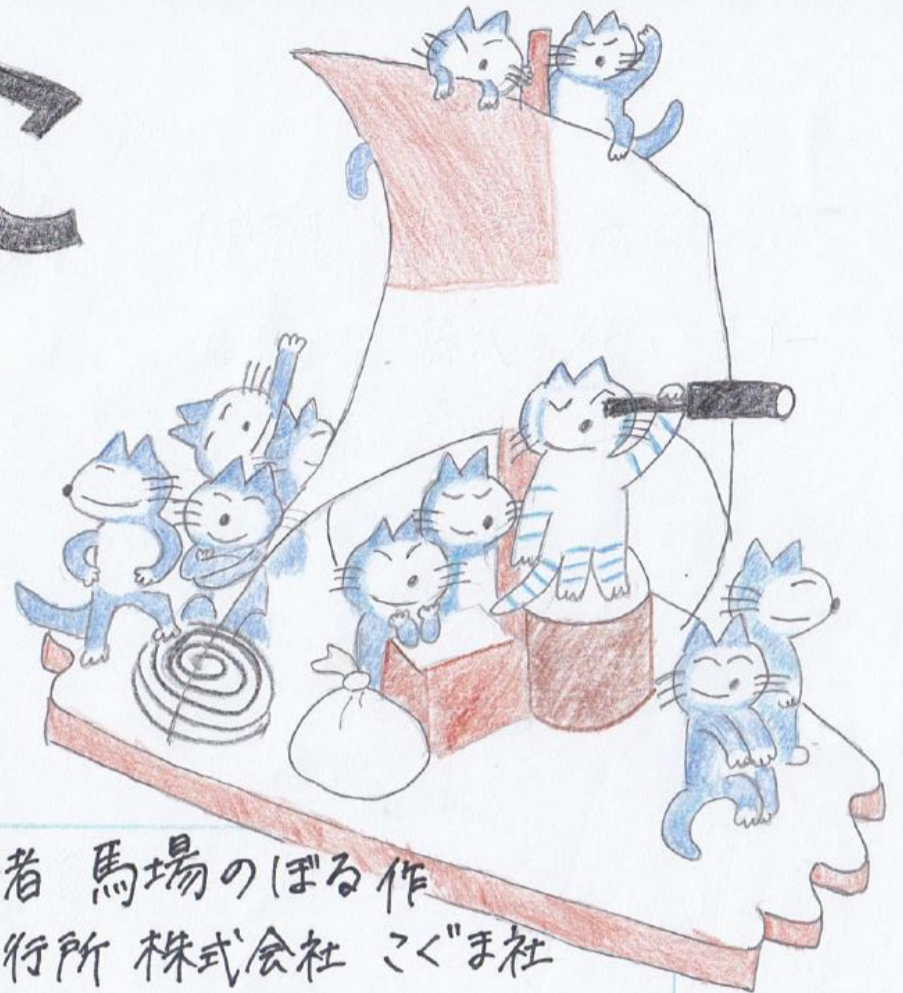
オススメの理由

11匹きのねこが体を張り、知恵を絞って、
作戦を実行します。この物語の最後には、
あと驚く展開が待っていて、最後の最後まで
楽しむことが出来る絵本です。

同じ作者の絵本

11匹きのねこシリーズ
きつね森の山男 など

作者 馬場のぼる作
発行所 株式会社 こぐま社
発行年 1967年
サイズ 26cm x 19cm
対象年齢 4歳から



鈴木みづほ



🔔12月の予定🔔

4日（土）
お父さんDAY・
サタデーひろば

23日（木）～31日（金）
ひろば閉室

甲南子育てひろば 連絡先

〒658-0001
兵庫県神戸市東灘区森北町6-2-23
甲南女子大学子ども室(10号館5階)
お問い合わせ：
TEL 078-413-3120
MAIL hiroba@konan-wu.ac.jp